

登録コード	HM116200	開講年度	2026				
授業題目	放射線治療学特論				担当教員	小岩井 慶一郎 他	
英文授業名	Radiation Oncology				副担当		
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				⇔	放射線治療学における最新の事項を理解し, その問題点に対する課題を設定できるとともに, これを解決することにより新たな知見や技術を生み出すことが出来るようになる.	
(2)詳細/Detailed information	癌治療における各種治療法の特徴を把握し, 集学的治療のあり方と放射線治療の意義を学ぶ. 外部照射, 組織内照射, 腔内照射, 内用療法について理解できるようになる.						
(3)授業の概要/Overview of course	放射線治療の原理から実践に至る幅広い内容を網羅的に解説することにより, 集学的治療の一翼を担う放射線治療の意義を明示する.						
(4)授業計画/Course plan	1. 放射線治療総論(第1回～第3回) 2. 外部照射について(第4回～第6回) 3. 組織内照射について(第7回～第9回) 4. 腔内照射について(第10回～第12回) 5. 内用療法について(第13回～第15回)						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	小单元ごとに簡単な小レポート作成とそのプレゼンテーションおよび討論を実施することにより, 各小单元ごとの理解度を調べる. 小レポート30%, プレゼンテーション30%, 討論40%で採点し, 成績を評価する. 得点率による評価基準は次の通りとする. 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可.						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	本講義は小单元ごとに課題を与える. 文献検索, レポート作成およびプレゼンテーション可能なパソコンを用意するとともに, メールでの提出が可能な環境を準備すること.						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	各担当教官のオフィスアワーを参照のこと.						
(8)授業の形式/Course format	レポート作成とそのプレゼンテーションおよび討論を各小单元ごとに実施する.						